

(3) 流域・川・海リニューアルプログラム

高度成長期に代表される機能性を重視した社会・経済の下、洪水に対する安全を確保するといった単一機能向上を目的とした河川改修等の実施により、生物の生息・生育の場や人と川のつながり等が分断されてきた。このような状況に対し、流域・海域一体として、水、土砂、生物、栄養塩等物質の状態を総合的に点検し、水の流れ、生物の生息・生育空間、人と川の関係等の“つながり”を徹底的に回復する。

リニューアルの基本方針の宣言

水、生物の移動性、土砂、栄養塩、人と水辺、水に係る地域活動等徹底的に連続性を確保

既存施設に不足している機能の確保、既存施設の更なる活用

総点検～山から沿岸域までの、線（川）から面（流域）の総合評価～

連続性の総点検（水、生物の移動、土砂・物質、人と水辺、水に係る地域の活動）
今日的総合的見地からみて整備した施設に足りないもの（景観への配慮、周辺環境整備、生物の生息・生育環境）

連続性の確保

エコロジカルネットワーク再生計画の策定

- ・流域・海域のエコロジカルネットワークの構築

総合水系環境整備事業の創設^{新規}

- ・河川事業とダム事業の環境整備事業を統合化することにより、水系一貫した環境整備を推進（直轄）

栄養塩類等の管理目標等に関する検討^{新規}

- ・モデル地域を選定し、ダムの堆砂の海域運搬等の事業を試行的に実施するとともに、栄養塩類の循環に着目した河川管理施設等の新たな管理指針を作成

流域内の既存ストックの有効活用

ダム再編の推進

- ・治水上の効果が高いなどの流域特性に応じたダムの最適配置に向けた再編を推進し、治水・利水等の機能向上を図る

堰堤改良事業の拡充（ダム機能向上事業）^{新規}

- ・ダム運用の見直しによる治水機能の向上や下流の無水区間の解消などの河川環境の改善のため、既設ダムに必要な事前放流用施設（小規模放流管）の増設などによる総合的なダム機能の向上を図る

水利制度のグリーン化と「よくわかる水利情報」の提供促進

- ・環境用水及び水源として豊水を活用する場合の水利使用許可基準を新たに策定
- ・水利関連情報（水利制度の仕組み、水利権者、許可水量、利水安全度等）を広く国民へ提供

< 新規予算制度 >

総合水系環境整備事業の創設（直轄）

河川環境整備については、流域全体の視点からの整備が重要であり、特に上流ダムを有する水系についてはダムとの連携が必要である。したがって、上流ダムにおける環境整備と河川における環境整備を連携することにより、効果的な河川の水質浄化やダムから河口まで連続した魚道整備による魚類の遡上・降下環境の改善等を図る。

河川環境整備事業費補助の統合補助金化（補助）

指定区間内の一級河川及び二級河川において、流域単位を原則として河川環境整備事業を統合補助金化することにより、現地の状況に即応した予算運用等が可能になるなど事業主体である都道府県等の裁量性を高めるとともに、事務の簡素化を図る。

堰堤改良事業の拡充（ダム機能向上事業）（直轄及び補助）

過去に建設されたダムは、放流量をきめ細かく調整する機能を有していないなど放流設備や環境対策等に不十分なものがある。

ダム運用の見直しによる治水機能の向上や下流の無水区間の解消などの河川環境の改善のため、既設ダムに必要な事前放流用施設（小規模放流管）の増設などによる総合的なダム機能の向上を図る。

